

# 高齢者の 自動車運転支援



# かいた病院 だよい

## 第24号

発行  
編集  
連絡先

本田 宣久  
広報委員会  
09496-2-2131

穎田地区 住民福祉講座



今回、穎田地区住民福祉講座において「高齢者の自動車運転支援」について講演を行いました。その中から、聴講された方が興味を持たれた内容をご紹介します。

まず、最近よく耳にすることがある「踏み間違いによる事故」に関して説明します。踏み間違いの事故の多くはブレーキと思い込み踏んだアクセルにより前進をし、「ブレーキを踏んだのに車が動いた!」との混乱から冷静な判断が出来ず、ブレーキと思い込んだアクセルをさらに強く踏み込み事故を起こすと言われていています。この冷静な判断が加齢や病気によって難しくなることで運転操作に支障を及ぼします。

安全な運転を継続するためには日中の交通量の少ない時間帯に自宅周辺のみ運転をするなど、時間帯や範囲を決めて運転を行なう工夫や自分の運転を過信しないなどの普段からの心掛けが重要です。また、自宅の車庫にバックで駐車するまでに時間がかかる、車を擦る等の軽微な事故を繰り返す、他者から運転に関して指摘された際には運転を継続するか見直す時期がきているかもしれません。不安がある方は公安委員会での臨時適性相談や当院での評価（必要性は主治医が判断します）をお勧めします。

病院 理学療法士 作業療法士 樋口加奈子氏

者の自動車運転支援について

林田宏剛氏

少島あゆみ氏

樋口加奈子氏

題 高齢者の自動車運転支援 師 穎田病院 理学療法士 作業療法士 樋口加奈子氏

# 時事通信

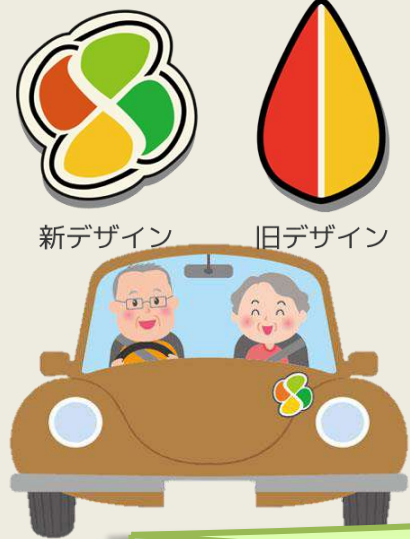
自動車運転は事故の危険があります。走行中は運転のスピードが早いいため、日常生活よりも迅速な判断力が必要になります。すし、運転者には注意力や交通ルールに関する知識も要求されます。そのため、運転技能や判断能力に低下があると、運転に制限がかかることがあります。一般的に、てんかん・重度の眠気を伴う疾患・脳卒中・認知症などの病気が関係します。運転を続けるかどうかの現状を評価する方法として、公安委員会に相談を行うことが出来ます。

その他、当院にも自動車運転の適性を評価する仕組みがあります。対象者は、てんかん・高度の認知症のない方など制限がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。リハビリテーション・セラピストと連携し、身体能力や高次脳機能を評価し、運転に関するアドバイスをを行います。

加齢に伴って見られる注意力低下、反応性低下といった周りから見て気が付きにくい症状もあります。一度、当院で検査を受けてみてはいかがでしょうか？

具体的には、外来を受診頂き、運転の評価のリハビリと申し出て下さい。その際はかかりつけ医からの紹介状も必要です。

家庭医 小田 隆太郎



## ☆☆☆ ICLS研修 ☆☆☆

今年度の締めくくりともなった看護師対象としたICLS研修が3月14.22.29日の3日間で行なわれました。今ではAEDという機械の存在が社会的に知られています。また、一般的にも一時救命処置は研修を受ける機会も多くなっていると思います。

今回の研修は医師と看護師だけで行われ、「食事中に食物による窒息」を想定した救命対応を実施しました。一時救命処置の流れから異物除去・気道確保の介助を実施します。それぞれの役割をはっきりさせ、チームワークも必要になります。その中でも、気道確保のため気管内挿管の介助方法・注意事項を念入りに行いました。緊急時だからこそ冷静に対応しなければなりません。

当院に入院する患者さんの急変時にいつでも冷静に対応できるよう今後も研修を継続していく予定です。

※ ICLS研修とは、「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした蘇生トレーニングコースです。



モニター付きの喉頭鏡です。

気管内挿管を行う際にのどの奥にライト照らして確認し、気道確保を確実にするための補助機械です。

# 介護施設研修会！

1月19日に施設での看取りについて当院5階会議室で、初めての研修会が開催されました。

一ノ瀬医師の看取りについての講義、3施設の看取りの事前発表そして最後にグループに分かれてそれぞれに医師がファシリテーターを努め、ディスカッションが行われました。その中で施設に入所された方にとって、そこは自宅と同じ場所だと言うことを、どの職員の方も理解した上で看護・介護をされていることをひしひしと感じました。

今回の研修会の中では、終末期の方が踊りの先生で、「もう一度踊りたい！」と発した言葉のキャッチができなかったことを、望みを叶えてあげれば良かったと後悔されている方もいました。お一人お一人に長い時間をかけて関わって行く中でその人の存在を尊重し生活の質を大切に、苦痛の緩和や家族ケアなどにも不安を抱えながら積極的に取り組んでいることを聞いて、これはまさしくエンド・オブ・ライフを実践しているのではないかと驚きました。皆さんたくさん参加して頂き、またあったらうれしいですと笑顔で帰っていき姿に、私も参加できた喜びと勇気をもらえました。また開催できるようにスタッフ皆で頑張りたいと思います。

訪問看護師 清水栄子



## ◆目的

- ①施設での看取りを促進する・施設職員の交流
- ②医療ケアの必要な施設患者さんについての質問を受ける  
(看取り、ケア、算定)
- ③カナミック社トリトラスの説明と登録を推進する  
(現在施設登録はしていない)

◆日時 1月19日金曜日18:30～20:00 (穎田病院5階会議室)

## ◆当院参加者

医師：一ノ瀬・金・新道・赤岩・小田・安田・武末  
看護師：山中・岡野  
MSW：木下  
事務：藤原

## ◆内容

- ①18:30～19:00 (30分)  
講演「慣れた布団とつながりの中で看取る1週間」一ノ瀬医師
- ②19:00～19:15 (5分×3名=15分)  
3施設からの経験談  
新みずき 稲益めぐみさん 小川ひとみさん  
ひなたの心 大島美子さん  
みのりの丘 金山さん
- ③19:15～19:45 (30分)  
各グループでのディスカッション  
(テーマは②から設定する)
- ④19:45～20:00 (15分)  
まとめ・アンケート記入・カナミックトリトラス説明

## 【診療担当表】※平成30年4月16日現在

		月	火	水	木	金	土
総合診療科(午前)	初診	吉田 桑原 渡部 井上	西園 泉 長谷川 穴戸	金 井上 渡部 小系	中安(吉田) 上野 鶴田 穴戸	茂木 木安 武末 鶴田 小系	当番制 (午前)
	再診 (予約)	安田 武末 長谷川	吉田 長末 渡部 北野	茂木 松本 木村	金 赤岩 中邑	井村 小田 渡邊 大杉(月1)	
総合診療科 (午後)	初診	赤岩	吉永/赤岩	武末	泉	安田	
	再診 (予約)	本田	深町 (15:30まで)	本田	本田	-	
小児科	午前	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
	午後	赤岩	赤岩 近藤(月1)	武末	泉	安田	
ワクチン (午後)		木村 (金)	-	-	井上 (中安)	-	
外科		家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	家庭医	
予約外来	整形外科 (14:30~ 16:30)	-	非常勤医 ※紹介制	-	-	非常勤医 ※紹介制	
	内視鏡	-	茂木 (上部のみ/午前)	-	-	木村(午後)	
	甲状腺 (第2水曜:午前)	-	-	萬代	-	-	
眼科 (午後)		-	-	山中	-	-	
耳鼻咽喉科 (午前)		-	-	-	-	非常勤医	
禁煙外来		渡部 (午前)	-	-	井上 (午後)	-	
腎臓内科 (午前)			中下	中下	中下	中下	
婦人科 (午後)		-	-	-	松岡 渡部	-	

## \*診療受付時間\*

- ・午前：8:30~11:30 (月~土)
- ・午後：14:00~16:30 (月~金)

## \*休診\*

- ・土曜(午後)、日曜、祝日、年末年始

## \*お問い合わせ\*

医療法人博愛会 穎田病院

〒820-1114

福岡県飯塚市口原1061番地1

TEL 09496-2-2131 (代表)

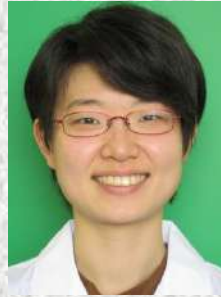
# 新しい医師を紹介します！

泉 汀 (いずみ みぎわ) 医師



飯塚病院総合診療科から参りました、泉 汀と申します。出身は鎌倉です。随分遠くに来ましたが、毎日楽しくを心がけています。不慣れな点多々あると思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。

井上 友美 (いのうえ ゆみ) 医師



何でも気軽に相談していただけるようなホームドクターを目指します。どうぞよろしくお願い致します。

上野 千晶 (うえの ちあき) 医師



はじめまして。笑顔で元気よく診療したいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

木安 貴大 (きやす たかひろ) 医師



山口県生まれ、山口大学出身で、飯塚病院で初期研修をさせて頂いた木安です。まだまだ未熟ですが、何卒よろしくお願い致します。

桑原 宏輔 (くわはら こうすけ) 医師



地域に少しでも貢献していけるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

小糸 秀 (こいと しゅう) 医師



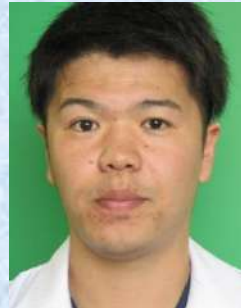
愛知県出身、飯塚病院総合診療科の小糸秀です。急性期とは違った慢性期の重要な役割を担う穎田病院での研修が有意義なものになるよう頑張っていこうと思います。いつでも声をかけてもらえれば嬉しいです。3ヶ月間宜しくお願いします。

宍戸 諒平 (ししど りょうへい) 医師



北海道から来ました宍戸諒平と申します。慣れない部分も多くあると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

鶴田 佳雅 (つるた よしまさ) 医師



名古屋から来た鶴田と申します。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。



## 2018年4月より診療報酬が改定されました

2年に1度行われる診療報酬の改定が行われ、2018年4月より新しい診療報酬で医療費が計算されます。そもそも診療報酬とは、日本の医療保険制度において保険医療機関と保険薬局が保険診療として、提供したサービスに対する対価として全国一律に適用される報酬として設定されたものです。新たな手術や新薬の開発など、医療の進歩に合わせて2年に一度改定されます。

今回の改定は、団塊の世代が全て75歳以上の高齢者になる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢者になる2040年と、今後急速に高齢化が進展していくことに伴う、医療ニーズの変化や生産年齢人口の減少に対し、将来にわたって対応可能な医療提供体制と持続可能な医療保険制度を構築するという課題を見据え、

- ①人生100年時代を見据えた社会の実現
- ②どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会の実現（地域包括ケアシステムの構築）
- ③制度の安定性・持続可能性の確保と医療・介護現場の新たな働き方の推進

の3つの基本認識のもと各項目が変更されています。

なお、今年度は、6年に1度の「医療と介護の同時改定」の年となり、医療と介護の役割分担と切れ目のない連携を進めることが重要とされています。



## 5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会

5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会を平成29年11月14日、平成30年3月6日と前年同様2回開催させていただきました。前回は1回の開催につき約七〇名程度のご参加でしたが、今年度は一回の開催につき約一〇〇名程度のご参加をいただきました。また今年度からは民生委員さんにもご参加いただくようになり、地域包括ケアシステムへの関心の高さが伺えました。



第1回目は、松浦会長よりご挨拶いただき、当院本田院長から愛生苑のなごちゃんの話がありました。その後、事例提供を元にグループワークを開催しました。当日は、東京大学特任教授辻先生、飯塚市片峯市長にもお越しいただき、講評及び総評をいただきました。第2回目は、第1回目と同様バズワード（テーマを選択しテーマを選んだ理由とその対策を検討）方式でのグループワークを開催しました。

顔の見える関係の中でとても活発な意見が飛び交っていました。今後の地域包括ケアシステムの構築に繋がっていかれると思います。